ひょうご
緑の募金
みどりの風
2014.3
No.36
（題字　井戸敏三会長）

ひょうごの森を元気に　ー緑の募金活動への期待ー

森林には、水を育み、洪水や山崩れを防ぎ、地球温暖化の防止や生物多様性に貢献するほか、私たちにレクリエーションの場や心安らぐ景観を提供してくれるなど、「森林の公益的機能」という大切な働きがあることを多くの方がご存じのことと思います。このような森の恵みを私たちがいただくためには、適切に維持管理して、ひょうごの森を元気にしておく必要があります。

さて、森林は大切だから、「木を植えましょう」とか、「木を伐ると環境破壊」とお考えの方が多いのではないでしょうか。昔は日本の森林も熱帯林などと同じように、人口の増加に伴い、建築や燃料、食料増産のために山は伐採され、はげ山が多く、大雨の度に山崩れや洪水などの災害が発生していました。しかし、今の日本の森林は少し状況が異なります。ライフスタイルの変化や林業の採算性の悪化などから、木は利用されなくなり、モヤシのような木が密生し、森の中は暗くて下草もなく、表面の土が流れ、大雨で山崩れや洪水などの災害が発生することがあります。森と人との関わりが薄れ、放置されると、やはり森も元気がなくなります。今の日本の森林の状況を考えると、「木を伐って、木を利用しましょう」「伐った後は、地域の木を植えましょう」「植えた後も手入れしましょう」というスローガンになるのでしょうか。

兵庫県では、このような大切な働きのある森林を県民共通の財産と位置づけて、「県民総参加の森づくり」を進めています。

兵庫県緑化推進協会の皆様には、緑の募金法に基づく県内唯一の団体として、緑の募金活動にご尽力をいただき、緑の募金や国交付金等を活用して、森林ボランティアの森づくり活動への支援、「ひょうご森のまつり」の開催など森や緑に対する意識の高揚、また企業の森づくりの推進、次代を担う子供達の森林環境教育等を行う「緑の少年団」活動への支援など、県が進める「県民総参加の森づくり」に多大なご協力をいただいております。

平成25年度緑化作品コンクール入選者　1席
（矢野　翔也　2年　尼崎市立水堂小学校）（応募時）

おかげさまで森林ボランティアは、現在県下で137団体10,317人と一万人の大台を越え、「企業の森づくり」では、現在26企業の方々に1,300haの森づくりに取り組んでいただくなど、着実に成果を上げることができました。

今後とも、多くの皆様方のご理解のもと、緑の募金活動の輪が広がり、県下各地で活発な森づくり活動や次代を担う子供達を中心とした森林環境教育など積極的な取組が広がり、ひょうごの森が元気になるように、ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いします。

兵庫県農政環境部豊かな森づくり課長　築山　佳永

森林ボランティア「神付・産土の森の会」森づくりの紹介

「神付・産土の森の会」

「神付・産土の森」は六甲山の北側で神戸市北区大沢町にあり、神戸の市街地から車で１時間のところにあります。この地域は田畑や豊かな緑におおわれ、静かな山里の雰囲気が残り、つい半世紀前までは落ち葉を集めて、田や畑の肥料を作り、伐採した樹木は貴重な燃料となって、私たちの生活を支えるかけがえのない宝物でした。ところが今では人と里山のつながりが薄れてあれ放題に。昔の姿を知っているだけに、先祖に申し訳ないという思いから整備（民有地20ヘクタール)ついて兵庫県のご支援をいただき、平成20年２月に森林ボランティア団体「神付・産土の森の会」を発足。交通アクセスの良さもあって、神戸阪神間からの会員も多く、現在は50名となっています。活動は月２回の放置林の下草刈りや除間伐を基本に、「ふれあいの森づくり」、「学びの森づくり」、「地域に根ざす森づくり」の３つをキーワードとして活動しています。

学校や企業の環境体験学習、「企業の森」の受け入れ、年２～３回の一般市民向けの里山自然観察会、地域の人たちとの親睦を図るイベント、会員対象の森についての知識・技術の向上を図る講習会など多彩な活動を行っています。特に危険な道具を使うことが多いことから、年１回は専門家を招いて安全講習会を行い、徹底して安全重視による活動に努めています。手道具による基本活動のほかに、チェーンソーと刈払機による動力機活動、利活用として炭焼、木工、キノコ栽培さらにネイチャークラブによる里山自然勉強会などの活動を行っており、昨年度は年間120日あまり活動を行いました。

まだ全体の５分の１程度しかきれいに整備できていませんが、整備したところは明るくなって光が差し込み、つつじや山桜など多くの花が咲くきれいな里山によみがえってきました。私たちの活動は荒れた里山を整備して元気な里山をつくることであり、これからも仲間とともに自然の中で心地よい汗を流していきたいと思っています。

昨年は私たちの活動が評価され、「ひょうご森づくり活動賞」をいただきました。

「企業の森づくりフォーラム」を開催！

平成26年2月3日（月）に当協会と兵庫県、（公社）国土緑化推進機構、美しい森林づくり全国推進会議の４者共催で、兵庫県民会館けんみんホールにおいて開催しました。

当日は、全国各地から200名もの参加者を迎え、東京農業大学教授の宮林茂幸先生の基調講演や、現在、企業の森づくりを実施している企業を集めたパネルトークを実施しました。

基調講演では、ＣＳＲからＣＳＶへ、グリーンエコノミー、それから100年後を見据えた取り組みが必要だというお話をいただきました。

パネルトークでは、兵庫県を代表して、㈱神戸製鋼所・全神戸製鋼労働組合連合会と㈱日本触媒の企業の森づくり事例が発表されたほか、近隣府県で企業の森づくりを実施している企業からも取組事例が発表されました。

最後にコーディネーターを務められた宮林先生は、本物を体験し、本物をみんなで議論し、本物を見て知る、そして本物から学ぶことが大切で、山側と企業側をつないでいくコーディネート機能をもった組織が必要となっていく。また、100年先を見据えた森林のグランドデザインを描いていくには企業と地域の人、企業とＮＰＯ、それに行政が加わって総合的な関係の中で森づくりが発展していくのだとまとめられました。

平成25年度 緑化作品コンクールの結果

緑化思想の高揚を図るため、県下の小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒を対象にコンクールを実施しました。

応募点数は、緑化ポスター原画の部3,224点、緑化標語の部1,144点、そのうち入選点数はポスター原画の部32点、標語の部19点でした。特に優秀な作品をご紹介します。

兵庫県立多可高等学校　3年
森本　　翔さん（応募時）

国土緑化推進機構理事長賞

〈ポスター〉

小学生の部1席

尼崎市立水堂小学校
2年　矢野　翔也さん
（応募時）

中学生の部1席

三木市立三木中学校
3年　古谷　優季さん
（応募時）

高学生の部1席

兵庫県立姫路工業高等学校
1年　湊　友季絵さん
（応募時）

〈標語〉

小学生の部1席

加古川市立陵北小学校　3年　松尾　賢人さん
（応募時）

「ぼくたちで 植えて育てる 緑のきずな」

中学生の部1席

加古川市立中部中学校　3年　福原　琴音さん
（応募時）

「育てよう 緑の地球と みんなの心」

高校生の部1席

兵庫県立農業高等学校　2年　松尾　優紀さん
（応募時）

「たくさんの 緑化でつながる 笑顔の輪」

県下の緑化推進委員会を訪ねて

<宍粟市緑化協会>

　宍粟市緑化協会の事務局は市商工林業課内に設立し、各自治会の協力を得ながら家庭募金を中心に募金活動を実施しています。

　主な取組みは、緑の募金を活用し、各自治会の要望に応じて春と秋に花苗や緑化資材の配布を行ったり、地域の緑化ボランティアへの助成などを行っています。

　今後も、市民の緑化活動への参加を促し、市内の緑化活動の推進を図っていきます。

「緑の募金」にご協力をお願いします

　森や緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

　このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、「緑の募金」として家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金を県下各地域で行っています。

ご寄付の方法

　ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振込をお願いします。

- **郵便払込**
  郵便振込の場合、公益社団法人兵庫県緑化推進協会に直接お問合せ下さい。専用の払込取扱票用紙をお送り致します。
- **銀行振込**
  口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所
  普通 3198438（振込手数料が必要）
  名義：公益社団法人　兵庫県緑化推進協会

募金の期間　春　3月1日～ 5月31日
秋　9月1日～10月31日

公益社団法人　兵庫県緑化推進協会　〒650-0012
神戸市中央区北長狭通5丁目5−18
TEL 078 (341) 4070　FAX 078 (341) 4071
URL：http://www.hyogo-green.net/

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
VEGETABLE OIL INK